

霊の賜物の発見

◆霊の賜物に関する新約聖書の探究

- 第一部 もてなし、ローマ二二章
- 第二部 勧告、コリント第一・一二章
- 第三部 教え、コリント第一・一二章、エペソ四章
- 第四部 知識、殉教、見分ける力(洞察)、信仰
- 第五部 慈善、知恵、指導、牧会(羊を養う)
- 第六部 伝道、助け(奉仕)、使徒、寄付
- 第七部 行政管理、とりなし、外国伝道(宣教)、預言

著者、ロイ・C・ネイテン

(アンドロリウス大学宗教教育部準教授)

発行所

世界総会チャーチ・ミニストリー部

翻訳・発行

セブンスデー・アドベンチスト教団

第4部

ふりかえり

第一部から第三部まで、私たちは、霊の賜物に関する三つの重要な新約聖書の記事を調べました。その中でパウロの説明の主要な点は、次のように要約できると思います。

- 1、奉仕は、イエス・キリストとの関係に基づくものである。イエス・キリストに終生の献身をする者には皆、果たすべき奉仕がある。
- 2、神はその子たちすべてに奉仕のための賜物を与えておられる。しかし、全員が同じ賜物を受けているわけではない。各々が神の定められた奉仕を果たすとき、神のご計画による働きはすべて達成されるはずである。神が教会員にお与えになる賜物は、教会員のあいだに自主独立を生み出すのである。
- 3、神は、奉仕のための力を与えられる。それは愛によって動機づけられ、互いの一致を促進する。

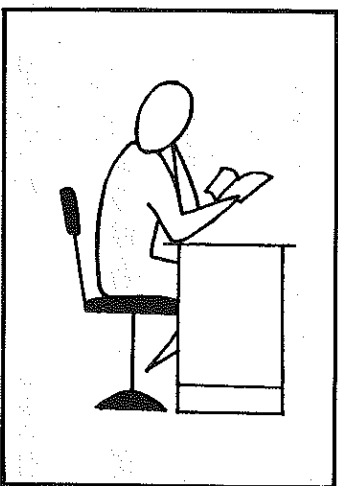
知識の賜物

「……ほかの人には、同じ御霊によって知識の言……」(コリント第一・一二ノ八)。

1、原語の意味

「知識」という言葉は、ギリシャ語の動詞ギノスコからきており、二百回以上聖書で用いられている中で、ほとんど常に「知る」と訳されています。それは、直観的な知識とは対照的に、経験や学習によってもたらされる知識に当てはまります。その動詞は、「了解する」とか、「調査によって結論に達する」とか、「問題を解決する」とか、「何かの達人になる」という意味をも

っています。



2、行為に表された知識の賜物

コリントの信者たちは独特な一連の問題に直面してしました。なぜなら、彼らの文化は使徒的クリスチャンの模範とは正反対の状態だったからです。コリントは、異なった価値感や、言語や、歴史や、宗教をもっていました。この重要なちがいに對抗して、パウロはしばらくのあいだ栄えた小さな教会を興しましたが、パウロの強力な指導力がなくなったとき、それはつまづき始めました。

新しい信者たちは、食事をするたびに問題に直面しました。マーケットで売られていた食べ物、まず最初に神々にささげられたものでしたから、ほんの何週間、あるいは何か月前までそれらの偶像を拜んでいた人にとって、これは葛藤をひきおこしました。この問題を聞いたとき、パウロは、自分の知識の賜物を用いて手紙を書きました。パウロは、クリスチャンにとつて偶像は単なる命のない木か石にすぎない、唯一の神しか存在しないのだと述べています。パウロは新しい信者たちに、その問題が自然に解決するまで、この事実をよく考え続けるようにと助言しました。そして、成熟したクリスチャンたちに、新しいクリスチャンたちの成熟への過程が困難になるようなやり方で自分たちの成熟したことを誇示してはいけないと忠告しました。知識の賜物の利用は、知恵の賜

物と相まって、たちまちコリント教会の問題を解決したので

3、知識の賜物の五つの面

次にあげる聖句は、ギノスコのいくつかの形を用いています。

- a 知識は救いの戸を開くかぎである（ルカ一ノ五二、ホセア四ノ六）。
- b この賜物を持つ者によって分け与えられる最も重要な知識は、あらゆる知識を統合しておられるイエスに焦点を合わせている（ピリピ三ノ八、コリント第二・四ノ六）。
- c 知識の賜物は、良心の問題の解決を助ける（コリント第一・八ノ七、八）。
- d 知識の中には、靈的に未熟な者をかき乱すものもあるので、この賜物を与えられている者は、神の愛によって、気を配るはずである（コリント第一・八ノ一、一三ノ二、エペソ三ノ一九）。

- e 救いの知識を拒否することは、永遠に失われることである（ヘブル人一〇ノ二六、ペテロ第二・二ノ二一）。

4、定義

知識 「神のみ言葉を学び、理解して、他の人々がこの知識によって祝福されるようにする、霊の賜物。」

5、賜物の誤用

真理を追求することが、見い出された真理よりも重要になるとき、すなわち、知識を学ぶだけでクリストの体に役立つように分け与えないとき、賜物は無意味なものになります。

6、デイスカッション

- a 霊の賜物は教会を祝福するために与えられます。その賜物を持つ者は、どのような方法でその知識を祝福となり得るように分け与えればよいのでしょうか。
- b 知識の賜物を持つ者は、どのようにして知識を得ますか。その賜物は、一度に何時間も学習する能力ですか。それは、研究によって組み立てられる賜物ですか。それとも、それは、真理と誤りを認識する第六感のようなものですか。説明してください。

7、知識の賜物の確認

もしもあなたがこれを自分の賜物と考えるならば、次の問いに答えてみてください。

- a 聖書とコンコルダンスを手にする、あなたは安心した気持ちになりますか。かなり困難な聖書のテーマを研究して、一日あるいは一晩をあっという間に過ごした経験がありますか。自分の聖書の疑問に対して、あなたはいつも満足できる解答を見出しますか。教会の人たちは、意見が一致しない教理上の問題、あるいは靈的問題に直面したとき、あなたを当てにしますか。あなたは靈的な事柄を扱っている教材を明快に理解できるように分析することができますか。あなたは自分の個人的体験から学び、それを他の人々に分け与えることができますか。あなたは現在、クリスチャンとしての発達段階において、福音の内容を十分に理解していますか。

祈りへの応答

おなかをすかせたいたずら盛りの子たちの列が、食料置場が空っぽだということも知らずに、朝食のために食堂にぞろぞろとはいって来ました。しかし、調理人は何一つ出すものがありませんでした。

ミューラーは、信頼に満ちた声を張り上げて、みんなに聞こえるようにこう言いました。「父よ、あなたが私たちにくださろうとしている食べ物のことを感謝いたします。」まだ手にしていない食べ物のためにささげる感謝の言葉をみんなが聞いたのは、それが最初ではありませんでした。ミューラーの「アーメン」という言葉が大きな食堂にこだましたとき、ドアを「どんどん」とノックする音がしました。ミューラーがドアをあけると、そこにはその土地のパン屋がいました。パン屋はミューラーにあいさつすると、自分の前の晩の気持ちは伝えました。彼は午前二時に目がさめて、どうしても孤児たちのためにパンを焼かずにはいられなくなつたということです。ミューラーは別に驚きませんでした。パン屋にお礼を言うと、感謝してパンを受け取りました。しばらくするとまた孤児院のドアをノックする人がいました。それは、孤児院のまん前で荷馬車がこわれてしまった牛乳屋でした。その人はこう言いました。「実は、ミルクのかんをどけてから、荷

馬車を修理に持って行きたいのですよ。ミルクを使っていただけませんか。」

ミューラーの祈りはこたえられたのです。そしてすぐにおなかをすかせた男の子たちは、栄養たっぷりの朝食にありつきました。

六〇年以上ものあいだ、その霊の賜物を与えられたミューラーは、総計五百万ドル以上の贈り物で、一万人の孤児を養いましたが、その贈り物の中には、せがんでもらつたものも一つもなかったのです。霊の賜物には、困っている人を助けるために手をさしのべるという意味があるのです。

殉教の賜物

「あなたがたは、更に大いなる賜物を得ようと熱心に努めなさい。そこで、わたしは最もすぐれた道をあなたがたに示そう。……たといまた、わたしが……：自分のからだを焼かれるために渡しても、もし愛がなければ、いっさいは無益である」

(コリント第一・一二ノ三二—一三ノ三)

コリント人への第一の手紙一二章の中で、パウロはたくさん異なる賜物をあげています。それは新約聖書の中で最も長いリストですが、すべての賜物を網羅しているとはいえません。一三章では、使徒は、これらの賜物一つ一つを、愛を原動力として用いるようにすすめています。一節と二節で、パウロは、すでにあげられているいくつかの賜物、異言、預言、知識、信仰についてくり返し述べています。そして、三節において、まだあげられていない二つの賜物を付け加えています。財産を施すことと、殉教です。三節であげられている奉仕は、一節と二節であげられているものと同じく「賜物」であると考えるのが妥当であると思われま

1、原語の意味

カイオという語は、「火で焼き尽くす」ということを意味

しています。この語から、英語の“cauterize”「焼灼する」

が生まれました。“martyr”「殉教」という語は、ギリシャ語でも事実上英語と同じ“martyr”ですが、新約聖書では、ほとんど常に“witness”「証」と訳られています。それがギリシャ語の基本的な意味なのです。“martyr”「殉教」と訳されているのはたった三回です。聖書の中で「殉教者」としてあげられているのはただ二人だけで、アンテパスとステパノです。

2、行使される殉教の賜物

旧約聖書の中では、三人のりっぱな人物が、神を否定するより、進んで自分の命をささげることを選びました(ダニエル書三章)。彼らは、炎の中で殉教するはずでしたが、奇跡的に助けられました。ルステラでパウロは石で打たれて放置され、死んだと思われました(使徒行伝一四ノ一九)。これらの人々はみな、死なな



かつたとはいえ、殉教の賜物を持つていたのです。宗教改革の初期に、フスの殉教が神の義の推進に力を与えました。今世紀では、アウカ・インディアンに福音の門戸を開くため、殉教者が必要でした。

殉教の賜物の霊的な真髄をとくに示しているのは、ステパノの体験です。彼は、偽りの証人たちの告発に答えるために、議会にひっぱってこられました。記録は、議会の人たち皆の目に「彼の顔は、ちょうど天使の顔のように見えた」と述べています(使徒行伝六ノ一五)。心によこしまな考えをいだいて、祭司たちはステパノを町の外へ引き出し、石で打ちました。しかし、ステパノは、死に直面しながら、平安と落ち着きを体験したのです。石が彼の命を打ち砕くあいだに、彼は、こう叫びました。「ああ、天が開けて、人の子が神の右に立つておいでになるのが見える」(使徒行伝七ノ五六)。天に上げられて父の右におられるキリストの幻は、暴力的な死の瞬間にあつてさえ、ステパノを支え静めたのです。これは、殉教の賜物を持つ者すべてに当てはまる体験のように思われます。

3、殉教の賜物の五つの面

a 殉教の賜物を持つ者は、イエスの証に最大の関心を持つている(ヨハネ一ノ六、七)。

だは生きることを選ばれたが、死ぬことによつてさらに多くのものが得られるようになったとき、死ぬことを選ばれたと言われています。すべてのことを知り、未来を予知する神のみが、だれかが命を捨てるのが福音のためになるかどうかか、そして、いつそれが、もつともためになるかということを示すことがおできになるのです。したがって、クリスチャンが殉教を求めたり、死が起こり得る状況に不注意に自らを置くことは、正しいことではありません。

6、デイスカッション

a 私たちの教会で最近あつた殉教を思い起こすことができますか。

b 最近キリスト教会であつた殉教を詳しく知っていますか。

c 礼拝の自由のある西欧諸国と比べて、信仰のために今もなお何人かのクリスチャンが殉教の死をとげている東側諸国における教会の将来を、どのように考えますか。

d もしも、この賜物を持つ地方教会のメンバーがいたら、その人は、その命をすてることなく、この賜物によつて、

b 火や剣による処刑の脅かしも、殉教の賜物を持つ者の主への忠誠を動かすことはできない(ダニエル三ノ一三〇、テモテ第二・四ノ六、黙示録二二ノ一一)。

c 殉教の賜物を持つ者は、イエスの幻とイエスへの信頼によつて、完全に支えられている(使徒行伝六ノ一五、七ノ五五)。

d そのような殉教者たちは、穏やかに、そして恐れずに死ぬ(使徒行伝七ノ五九、六〇)。

e この賜物を持つ者の証は、世間が「偉大な人」と呼ぶ人たちの前でも、世間が「つまらない者」と考える人たちの前でもなされ得る(使徒行伝二六ノ二二)。

4、定義

殉教 「キリストの主義に殉じ、進んで、恐れることなく命や名声を捨てる、霊の賜物。」

5、賜物の誤用

イエスは、生きることによつて多くのものが得られるあい

いつ、どのように教会の役に立つたらいいのでしょうか。

7、殉教の賜物の確認

明らかに、殉教の賜物は他の賜物のようにあなたが開発できるようなものではありません。もしも霊の賜物のチェックリストの結果が、これがあなたの賜物であるかもしれないことを示唆したら、そのことに感謝してください。しかし、たとえこれがあなたの賜物の一つであつたとしても、それは必ずしもあなたが自分の命や名声を捨てるために召されるであろうことを意味しているわけではないということ、心に留めておいてください。しかしながら、圧迫の時代や、重大な論争がなされるときには、神はあなたがたく主のために立つことを神が期待しておられるのだという意味なのです。あなたが神への忠誠のために自分の名声さえもあえてかける準備があるというその度合いこそ、おそらくあなたがその賜物に恵まれていることを最もよく示しているはずで

見分ける力の賜物 (洞察の賜物)

「兄弟たちよ。霊の賜物については、次のことを知らずにはもらいたくない」。「各自が御霊の現れを賜わっているのは、全体の益になるためである。すなわち、ある人には……霊を見分ける力が……与えられている」(コリント第一・二ノ一、七一〇)。

1、原語の意味

コリント人への第一の手紙二二章一〇節の中で用いられているディアクリノーというギリシヤ語は複合語で、ディアは“through”「くよよて」あるいは“because”「なので」を意味していますが、ここでは単に“to judge”「判断する」という意味の動詞クリノーを強めているだけです。英語の“crisis”「危機」のもとになっている名詞のクリシスは、“judicial process”「裁判の過程」を意味しています。したがって、この語のもとの意味は、「区別や、決断や、判断をする」あるいは「危機を適当なやり方で処理する」ということです。

す。

ある日、町の中を歩いて歩いているとき、パウロとシラスは、若い女がこう叫んでいるのに出会いました。「この人たちは、いと高き神の僕たちで、あなたがたに救の道を伝えるかただ」(使徒行伝一六ノ一七)。パウロとシラスを知っている者たちは、この若い女が真実を語っていると思ったのですが、パウロは、その見分ける力の賜物によって、サタンがその女をそそのかしていることを知っていました。その女と向かい合って、パウロはその霊に出て行くよう命じました。そして、その霊は出て行きました。その女の主人たちは、彼女がもはや彼らのために「演ずる」ことができなくなつたこと、そして、自分たちの収入源が断たれたことにただちに気づきました。彼らは議会に訴え出たので、パウロとシラスは、公衆の面前でむち打たれたあと、牢獄に投げ入れられました。二人が牢獄の中で讚美歌を歌っていると、地震が起こって牢獄の戸が開き、看守をふるえ上がらせました。パウロはこの機会をとらえて看守にイエスの愛について語り、看守とその家族を完全な献身へと導きました。

3、見分ける力の賜物の五つの面

次にあげる聖句のうちのaとbで、クリノーの動詞形が用いられています。そして、cとdでこの賜物が説明されてい

2、行為に表された識別力

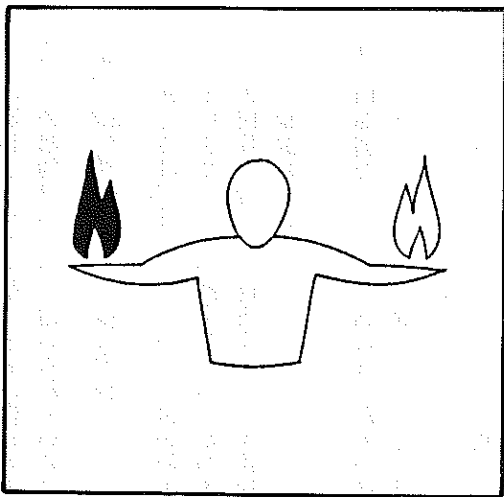
ピリピの住民たちは、自分たちの町が間もなく揺り動かされることなど知るよしもありませんでした。パウロとシラスを歓迎するために門のところまでやって来る人の群れなど一つもありませんでしたが、二人は間もなく自分たちを引きずり出す一群の人々に出会うはずでした。役人たちははだれも二人の到着を知りませんでした。二人が去つたあと、町の全体議会は厄介ばらいをしてほつと一息つきました。二人が到着したときに歓待した信者は一人もいませんでしたが、しばらくたてば、町中のすべての信者が、自分たちの家で二人に一晚過ごしてもらうことを心から名譽と思うはずでした。

第二次伝道旅行のあいだ、パウロとシラスは、シリヤを通過してエルサレムから北方へ旅し、そのあと、シリヤとガラテヤを通過して西方へ行き、最後に、現代のイスタンブールの南西にあたる、ダーゲネルスの近くのトロアスに着きました。そこでパウロは、エーゲ海を渡って来た一人の男の幻を見ました。その男は、「ここへ来て私たちを助けて下さい」と言いました。それに答えて二人は船でネアポリスに着き、そこからピリピへ行きました。ちょっとしたあいだに、テアテラのルデヤは主を受け入れて、家族といっしょにバプテスマを受けました。これらの人々がピリピの教会の中核となりました。

す。

a 見分ける力の賜物の行使は、霊的に成熟した人たちの中に見い出される(コリント第一・二ノ一四、ヘブル五ノ一四)。

b 見分ける力の賜物の行使によって、人と思想の善悪、神聖なものと、神聖なものを受けがすものあいだを区別することができる(エゼキエル四四ノ二三、ヘブル五ノ



- c この見分ける力の賜物は、たとえ話し手が真理をかたっている時でも、その人が神の代理人ではないことを指摘することができる（使徒行伝二六〇一六―一八）。
- d 見分ける力の賜物を持つ者は、さもなくば世俗的法廷で処理する必要のある教会員間の争いを、解決することができ（コリント第一・六九五）。
- e 見分ける力の賜物を持つ者は、個人の動機を、聖なるものか、悪魔的なものか指摘することができる（使徒行伝二三〇六―一二、ヨハネ第一・四〇一―一六）。

4、定義

見分ける力「人々の必要を認め、彼らに効果的に力を貸したり、教会員たちの前に立ちふさがっている問題や争いを見分けたり、人々の動機の源が主であるかサタンであるかを見分けたりする、霊の賜物。」

5、賜物の誤用

この賜物が人々の心に長期にわたって疑いをひきおこす場

7、見分ける力の賜物の確認

もしもあなたに、見分ける力が自分の賜物であると信じる理由があるならば、次にあげるいくつかの質問と示唆を考慮してください。

あなたは、対人関係に関わるような紛争において、相談を受けますか。あなたにとって、紛争の真相を突きとめて、本当の問題点を見い出すことは容易ですか。あなたは、ある人物がいつてん師になるか言い当てることができますか。講演者や美術家をたずねることについて論争がある場合、あなたは、本当に集会を盛り上げてくれる人を奉仕者として招くことができるように、決断を導く手助けができますか。おとなのためのバイブル・クラスや、子供のためのバイブル・クラスの教師の選出にあたって、あなたは役に立つことができますか。もしもあなたがこれらの問いのいくつかに、あるいは全部にイエスと答えることができるならば、あなたは多分この領域の賜物を与えられているはずですよ。

合、この賜物をもつと主張する者が優越感をもつようになるとき、この賜物は不適當に用いられていることになります。

6、デイスカッション

- a 私たちは、訴訟に頼るのが日常茶飯事という時代に生きています。二人の教会員のあいだの不和を、見分ける力の賜物を持つ者が解決することが適切であるのは、どんな状況のもとでしょうか。
- b 「内部調査」よりも裁判に訴えた方が適切である場合があるでしょうか。それはどんな場合か説明してください。
- c もしあるとすれば、どのような状況下では、この賜物を行使しない方がいいでしょうか。
- d 次のような場合、見分ける力の賜物を持つ者は、教会を祝福するために、どのようにしてその賜物を働かせたらいいたでしょうか。

- * 役員を選出
- * 説教者の選択
- * お客様の招待
- * その他

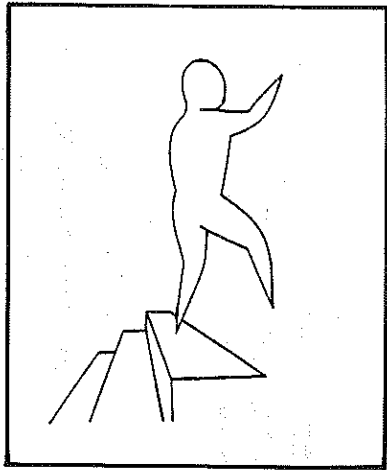
信仰の賜物

「靈の賜物は種々あるが、…ある人には、御霊によって…信仰が…与えられている」(コリント第一・二二ノ四―九)。

1、信仰の原語の意味

新約聖書の中では、ギリシヤ語のピスチスという語がおよそ二四〇回使われていて、ほとんど常に「faith」、「信仰」と訳されています。一回は「belief」、「確信」と訳され、一回は「fidelity」、「忠誠」と訳されています。この語の動詞形は、「だれかを信用する、あるいは信頼する」という意味です。ここで救いの信仰と奉仕の信仰を区別することが重要です。ヨハネによる福音書三章一六節は、主イエス・キリストを信じる者はだれでも永遠の命を得るということを明確にしています。言いかえれば、本当のクリスチャンはみんな救いの信仰を働かせているということです。しかし、奉仕の信仰は、神のために大きな夢を描き、いつもその夢が現実になるのを見るために生きている、ほんの少数の人々の中に見いだされます。

う命じました。しかし、パウロが予告したとおり、彼らの安全はおびやかされることになりました。嵐が彼らに襲いかかって、二週間のあいだ船は絶望的にほんろうされました。人々は命の危険を感じました。しかし、パウロは、だれ一人命を失う者はないと天使が知らせてくれたので、人々に希望のことばを語りました。「皆さん、元氣を出しなさい。万事はわたしに告げられたとおりに成って行くと、わたしは、神かけて信じている」とパウロは励ましました(使徒行伝二七ノ二五)。それこそが信仰です！そして、彼が予告したとおりのことが起こりました。船は浅瀬に乗り上げてこわれましたが、乗っていた二七六名の乗客たちは、一人も失われなかったのです。



2、行為に表された信仰

パウロは、イエスに献身したばかりに、かなりひどい苦痛を受けました。第三次伝道旅行の終わりには、パウロは拘留されて、裁判を待ちながら二年間も過ごしました。ユダヤの指導層はパウロを、反ユダヤ主義者として、また、ユダヤの律法に反する教えを説く者、ユダヤの神殿を汚す者として告発しました。彼らは、ローマの指導者の一人と分遣隊の執りなしがなければ、神殿の構内でパウロを殺してしまったかもしれせん。ユダヤ人の歓心を得るために、ローマの総督ペリクスは、パウロの長期間の監禁を許しました。やがて、裁判があつて、総督フェストは、パウロの一件はエルサレムで裁かれるべきだと提案しました。しかしパウロはそれに同意せず、ローマ市民の一人として、カイザルの前で裁判を受ける権利があると主張しました。こうして、ローマ兵の護衛のもとに、パウロは船でローマへ向かって出発しました。

パウロの出発は航海シーズンに遅れていたため、気象状況はしばしば荒れ模様となりました。船は、クレテの島のラサヤの町に近い港でほんのしばらく過ごしました。パウロは、この安全な港を出ると船が損害を受けることになるかと主張して、港を出ないよう警告しました。しかし、だれ一人パウロの言うことを本気にせず、船長は乗組員にいかりを上げるよ

3、信仰の賜物の五つの面

次にあげる引用句はそれぞれピスチス「faith」、「信仰」という言葉を用いています。

- a 信仰の賜物があれば、不可能なことは何もない(マタイ一七ノ二〇、ヨハネ第一・五ノ四)。
- b 救いの信仰と同様、奉仕の信仰も、自己を中心に置くのではなく、神を中心に置かなければならない(マルコ一ノ二二)。
- c 信仰の賜物は、終末時代にはわずかしか見られない(ルカ一八ノ八)。
- d 愛から分離された信仰の賜物の行使は無益である(コリント第一・一三ノ二)。
- e 信仰の賜物を働かせることは、神の約束が実現される前に、神の約束へ踏み出すことである(ヘブル一章)。

4、定義

信仰 「神の約束を主張し、確固たる信念を持って神の王国への計画を推し進める、霊の賜物。」

5、賜物の誤用

自分に与えられている霊の賜物を他の人々に強制するということとは、人が、同じ賜物を持っていない他の人に対して批判的になることを意味しています。「信仰」は、この問題に関して潜在的にむずかしい分野です。ある人が神が自分にそれをするように言われたと主張して、その計画の資金を募金するようなどき問題がおこります。寄付をする人は、資金を集める人が神がその人の心に置かれたご計画を実行しているのであって、自己満足のために個人的な野望を実行しているのではないということ、確信する必要があります。

6、デイスカッション

a あなたは、神があなたの仲間の信者の一人にお与えになった夢から始まった、最近の計画を思い起こすことができますか。

b わずかな資金しかない小さなグループのあいだで信仰

ができますか。あなたは神のための夢が実現するのを見るために、例えば、教会を建てることや、新しい会社を始めることや、宣教師を援助することなどに、信仰によって一歩を踏み出して、持てるものすべてをその線上に置く心構えがありますか。もしもあなたがこの種の問いに「はい」と答えることができれば、あなたはたぶんこの胸おどる賜物をお持ちです。

終わりに

私たちはだれでも、時によってある賜物を持っているかのごとくふるまわなければなりません。しかし、ある分野で賜物を与えられている少数の人たちと、与えられていない大多数の人たちのあいだには、歴然とした違いがあるのです。もしあなたがあなただけの賜物を与えられているならば、あなたは、

- * その賜物を喜んで働かせるはずでです。
- * その賜物を用いてうまくいくはずでです。
- * 定期的にその賜物を分かち、機会を見い出すはずでです。
- * 一貫して他のメンバーの是認を受けるはずでです。

予習

第五部の学習ガイドは次のような霊の賜物を調べます。…
…慈善、知恵、指導力、そして牧師職…本職でない場合と

によって確立された「目標」の大切さと、自分たちの自由になる多くの資金を持つ大きな教会における信仰の「目標」の大切さとのあいだには何か違いがありますか。

c 今すぐあなたの教会の人たちの想像力をつかみ、人々を主のための働きに向かわせることのできる夢は何でしょうか。あなたは主のために、思い切つてどれほど大きく夢を広げる勇氣がありますか。

d 神のみ業のために立派なアイディアを持っていると主張するものの、その人のアイディアを、一般の会員が極めて不適切、あるいはむしろ風変わりであると感ずるような人物に対して、あなたはどのように話しますか。

7、信仰の賜物の確認

もしもあなたが自分は信仰の賜物を与えられていると信じるならば、次の質問と示唆を考えてください。

神はあなたに、あなたが神のために果たすかもしれない事柄について、何らかの特別な「夢」をお与えになつていますか。たとえ資金も引き受け手もなくとも、あなたはあえてそれを果たそうとしたことがありますか。あなたは、自分の心をうばったそのようなアイディアを心から支持をすること

本職の場合。次回に、提示される予定の論点をあげます。

- ・ 管理と指導の違いは何ですか。
- ・ 教会員が五〇人以下の教会で、本職でない牧師の賜物を見い出せると思いますか、百人では。
- ・ 教会の「牧師」と「本職でない」牧師のあいだで争いが起こりそうですか。
- ・ 人はどこで知恵の賜物を働かせることを期待することができますか。
- ・ 本職でない牧師の働きは、どのようにして最もよくたつていけますか。
- ・ 慈善の賜物はどのくらい一般的でしょうか。そして、それはどのようにして行使されますか。